

補助金を活用してください!!



①鹿屋市空き家等バンク登録物件改修事業補助金 ②鹿屋市空き家等バンク家財道具等処分費用補助金

- 対象者
①空き家バンクの登録物件であり、賃貸借契約が締結された(ア) 空き家等の所有者、(イ) 空き家等の借受者
②空き家バンクの登録物件であり、賃貸借又は売買契約が締結された空き家等の所有者

- 要件
・市内業者が施工すること
・市税の滞納がないこと 等

- 内容
① (ア) 改修費用の1/2 (上限 50 万円)
(イ) DIY費用の1/2 (上限 30 万円)
②処分費用の2/3 (上限5万円)

☎市地域活力推進課 ☎ 0994-45-6930

鹿屋市支え愛ファミリー住宅改修応援事業補助金

- 対象
昭和 56 年 6 月以降に建築又は着工した住宅
- 要件
・この補助金を過去に受けていない物件
・市税等の滞納がないこと
・工事費が 20 万円以上かかること 等

- 内容
改修工事費の 1/5 (上限 20 万円)
※昭和 56 年 5 月以前に建築した住宅については建築住宅課にご相談ください。

☎市建築住宅課 ☎ 0994-31-1129

①鹿屋市危険空家解体撤去工事補助金

- 対象者
所有者、相続人又は委任を受けた人
- 要件
・解体撤去に際し、市内の解体撤去業者を活用すること
・解体撤去費用が 30 万円以上かかること
・市税等の滞納がないこと
・解体撤去後の跡地利用の計画があること 等
- 内容
危険空き家の解体費用の1/3を助成 (上限 30 万円)

②鹿屋市危険空家解体跡地活用補助金

- 対象者
①の交付を受けた人
- 要件
・危険空家を解体した跡地が、鹿屋市立地適正化計画に定める居住誘導区域又は地域生活拠点維持区域内にあること
・跡地を含む敷地に居室を有する建築物が建築され、危険空家を解体した日から2年以内に表題登記が完了していること
- 内容
解体撤去工事費用の1/2の額から危険空家解体撤去工事補助金で交付を受けた額を差し引いた額 (上限 30 万円)

☎市安全安心課 ☎ 0994-31-1124

専門家に相談を!!



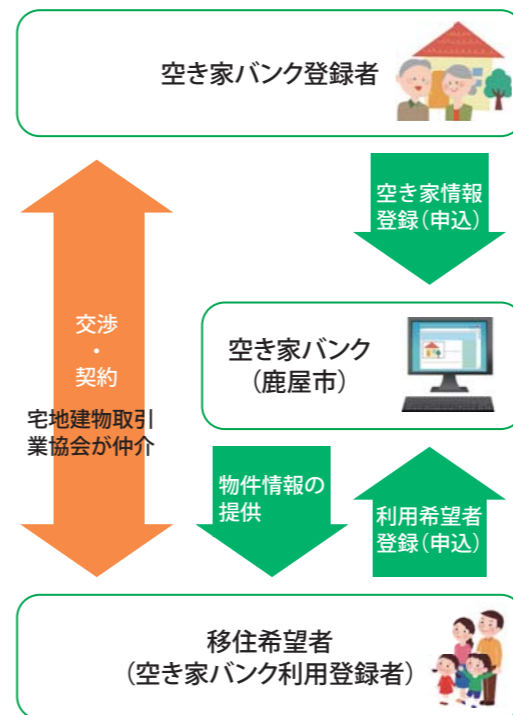
相談内容	相談先	電話
管 理	鹿屋市シルバー人材センター	0994-40-3382
売 却 賃 貸	鹿児島県宅地建物取引業協会 大隅支部	099-821-5165
	市地域活力推進課 (空き家バンク制度)	0994-45-6930
改 修	鹿児島県建築士会 鹿屋・肝属支部	0994-42-2168
	市建築住宅課 (住宅改修支援)	0994-31-1129
解 体	鹿児島県解体工事業協会	099-251-1033
	市安全安心課 (危険空き家解体支援)	0994-31-1124

空き家無料相談会も実施しています。

空き家の売却、賃貸、相続、解体、リフォームについての相談会

- 日 時 8月11日(日) 10:00～15:00
 - 場 所 市役所7階大会議室
 - 定 員 35組 ※要事前予約
 - 参加料 無料
 - 応 募 お問い合わせください。
- ☎市安全安心課 ☎ 0994-31-1124

空き家バンク制度のイメージ



空き家の期間が長くなるとそれだけ建物の老朽化が進み、場合によっては人が住めない状況に。そうなるとう賃貸、売却が難しくなります。実際に、状態が良い物件から成約されますので、早めの対応として空き家を所有している場合は、まずは、かのや移住サポートセンターまでご連絡ください。

空き家の活用方法 ～空き家バンク～

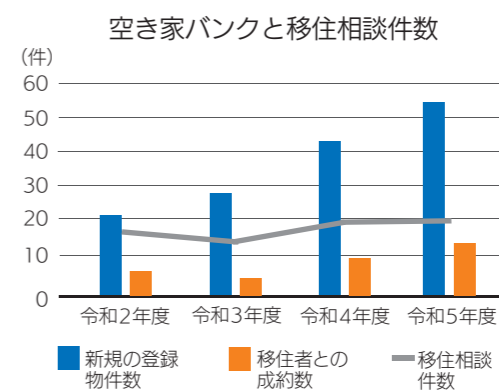


空き家にしないために、市では空き家バンク制度を推進しています。ここではその制度について説明します。

☎かのや移住サポートセンター (市地域活力推進課内)
☎ 0994-45-6930



空き家バンク制度の活用
空き家バンク制度は、今ある空き家の有効活用を目的とした制度で、「貸したい・売りたい人」と「借りたい・買いたい人」のマッチングを行います。本市では、居住誘導区域内等の空き家バンク登録物件の購入に対する住宅取得補助や移住・定住施策の一環として、移住者が空き家を賃貸する場合に、所有者に対する物件改修補助金がありますので、ぜひ空き家バンク制度の活用をご検討ください。



空き家バンクの状況
近年、本市の空き家バンク登録に関する相談が増えていきます。相談の多くが、実家が空き家になったので登録したいとの理由です。

空き家バンクを利用して故郷である鹿屋市に移住しました



茨城県から本市に移住した
まえじま てつや
前島 哲也 さん
えいこ
英子 さん 夫妻

私たちは、定年を控えていたときに妻の実家がある鹿屋市に移住しようか迷っていました。まずは市の公式LINEに登録し情報を収集していると、鹿屋市合同企業説明会があることを知ってオンラインで参加。これがきっかけで市内の会社に勤めることになり、移住を決断しました。

住むところは空き家バンクを利用しました。その他の方法も検討しましたが、空き家バンクの豊富な選択肢の中から、金額・条件等

を踏まえて「これだ」という家を見つけることができました。

移住への決断や生活を始める上でサポートしてくれた移住サポートセンターの皆さんも心強い存在でした。Uターンを検討している方がいらっしゃれば、まずは相談してみたいかがでしょうか。

